

3月23日 修了式講話

先々週の金曜日、3月13日に9年生53名が、先週水曜日の18日には6年生48名がそれぞれの課程を修了し、めでたく今宮中学校・新今宮小学校を無事卒業しました。卒業証書を受け取るときの返事、動き、言葉、歌、すべて整然と、厳粛な雰囲気の中で行うことができました。小学校ではその後の「卒業を祝う会」で各学年から心のこもった歌やダンス・演奏があり、大いに盛り上がりましたね。

今日は皆さんに、卒業式で6年生に贈ったお話をさせていただきます。皆さんは日本のプロ野球やアメリカ・メジャーリーグで大活躍した、イチロー選手を知っていますか？日米でとんでもない記録を作ったイチロー選手は、昨年7月に日本人としては初めてアメリカ野球殿堂入りしたまさにレジェンドです。そんなイチロー選手がインタビューで、「どうすればそんなすごい選手になれるのですか？」と聞かれ、「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道です」と答えたのです。急に山の頂上に上ることはできません。小さな歩を積み重ねるしか頂上に立つ方法はないということです。先程、修了証をお渡ししましたが、これはみなさんの1年間の小さな努力の積み重ねが形として現れたものなのです。1年間頑張ったからこそ、手に入れることができました。新しい学年になっても当たり前前の小さな努力を積み重ねていってください。

春休み中に、大きな事故やけがのないように、安全生活には十分に気を付けて、始業式には、新2年生から新9年生までみんなが元気で登校してくれることを願っています。

修了式の校長先生の話は以上です。